

記載例

様式第1号(第6条関係)

●● 年度富山市ねたきり防止等住宅整備費補助金交付申請書

●● 年●月●日

富山市長 様

●●年度において、ねたきり防止等住宅整備事業を実施したいので、富山市ねたきり防止等住宅整備費補助金を交付されるよう富山市補助金等交付規則第4条第1項の規定により、次のとおり申請します。

記

交付申請額 金 円

申請者	ふりかな	たてやま いちろう				生 年 月 日			
	氏 名	*補助を希望する方の氏名 立 山 一郎 (立山)				明.大.昭 ●●年 ●●月 ●●日 (●● 歳)			
	現住所	〒930-0061 富山市一番町●番●号 同じ印を押す				電話番号 443-2062			
税同居家族の状況兼 調査への同意書	私の今年度又は前年度の住民税課税状況についての調査に同意します。								
	氏 名	年齢	続柄	印	氏 名	年齢	続柄	印	
	申請者 立山 一郎	79	本人	(立山)					
	立山 和子	71	妻	(立山)					
(注)年の途中に他市町村から転入された方など本市内部で調査ができない方は、元の住所地の役場から住民税の非課税証明書を取り寄せてください。 (この場合は、押印の必要がありません)									
工事の施工	施工業者	業者名 富山高齢者住宅建設(株) 住所 富山市新桜町●番●号 電話番号 431-●●●●● 担当者氏名 良家 建洋							
	工期(予定)	(着工)7年5月20日～(完成)7年6月15日							
	家屋所有者	立山 一郎				申請者との続柄		本人	
	工事見積額 (消費税込み)	840,000 円(内自己資金 円))							

工事場所		工事内容	予想される効果
改善工事概要	トイレ	和式便器を洋式に取り替える。	高齢のため足腰が弱り、用便に
		手すりを取り付ける。	介助が必要な状態であるが、一
		廊下とトイレの間の敷居を撤去	人で用便が可能となる。
		し、段差を解消する。	介護者の負担が軽減される。
過去の補助実績 (該当に○)	申請者は、本工事以前にこの制度による補助を受けたことが、 1 ある 2 ☒ ない		
要介護認定について	認定の有無 (該当に○)	1 無 2 事業対象者 3 ☒ 有 (要支援1 2 要介護1 2 3 4 5 ☒) 4 申請中(申請日 年 月 日)	
	認定の有無欄 の3及び4に○ をつけた方は右 の欄への記載 が必要です(該 当に○)	地域包括支援センターまたは居宅介護支援事業所名及び電話番号 すこやか居宅介護支援事業所 電話 443-●●●●●● * 担当ケアマネジャーに、この欄を記入 してもらってください。 ☒ 長寿 担当ケアマネジャー氏名 長寿 喜子 印 1 ☒ この工事を住宅改修としてケアプランに位置付けています。 2 この住宅改築工事をケアプランに位置付ける予定です。	
身体障害者 手帳関係 (該当に○)	手帳の交付を 1 受けている 2 ☒ 受けていない 本工事以前に、「富山市ねたきり防止等住宅整備費補助金交付要綱」第3条第2項の 規定による給付を受けたことが、 1 ある 2 ☒ ない		

(添付書類)

- 1 住民税非課税証明書(年の途中に他市町村から転入された方など本市内部で調査ができない方)
- 2 改築場所の状況のわかる図面及び住宅の間取図
- 3 改築工事の設計図
- 4 見積書
- 5 着工前の写真

・申請書持参者

- ・本人 ・家族() ・ケアマネジャー()
 ・業者() ・その他()